

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1)調査時点 平成 29 年 4 月 1 日
(2)調査対象期間 平成 29 年 1 月～3 月期の実績および平成 29 年 4 月～6 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	16 社	53.3%
水産業部会	30 社	17 社	56.6%
機械工業部会	30 社	11 社	36.7%
建設業部会	30 社	17 社	56.6%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	15 社	50.0%
合 計	150 社	76 件	50.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

―業況は業種間で二極化しながらも好転。来期は僅かに好転の見込み―

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成29年1月～3月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比で▲18.4**と前回調査時の▲33.8より**15.4ポイントの好転**となりました。

部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前年DI値▲5.0→**今期▲37.5**]、水産業[前年DI値▲18.8→**今期▲47.1**]、機械工業[前年DI値6.3→**今期▲36.4**]、建設業[前年DI値▲27.8→**今期5.9**]、観光サービス・諸業[前年DI値▲17.6→**今期20.0**]となりました。

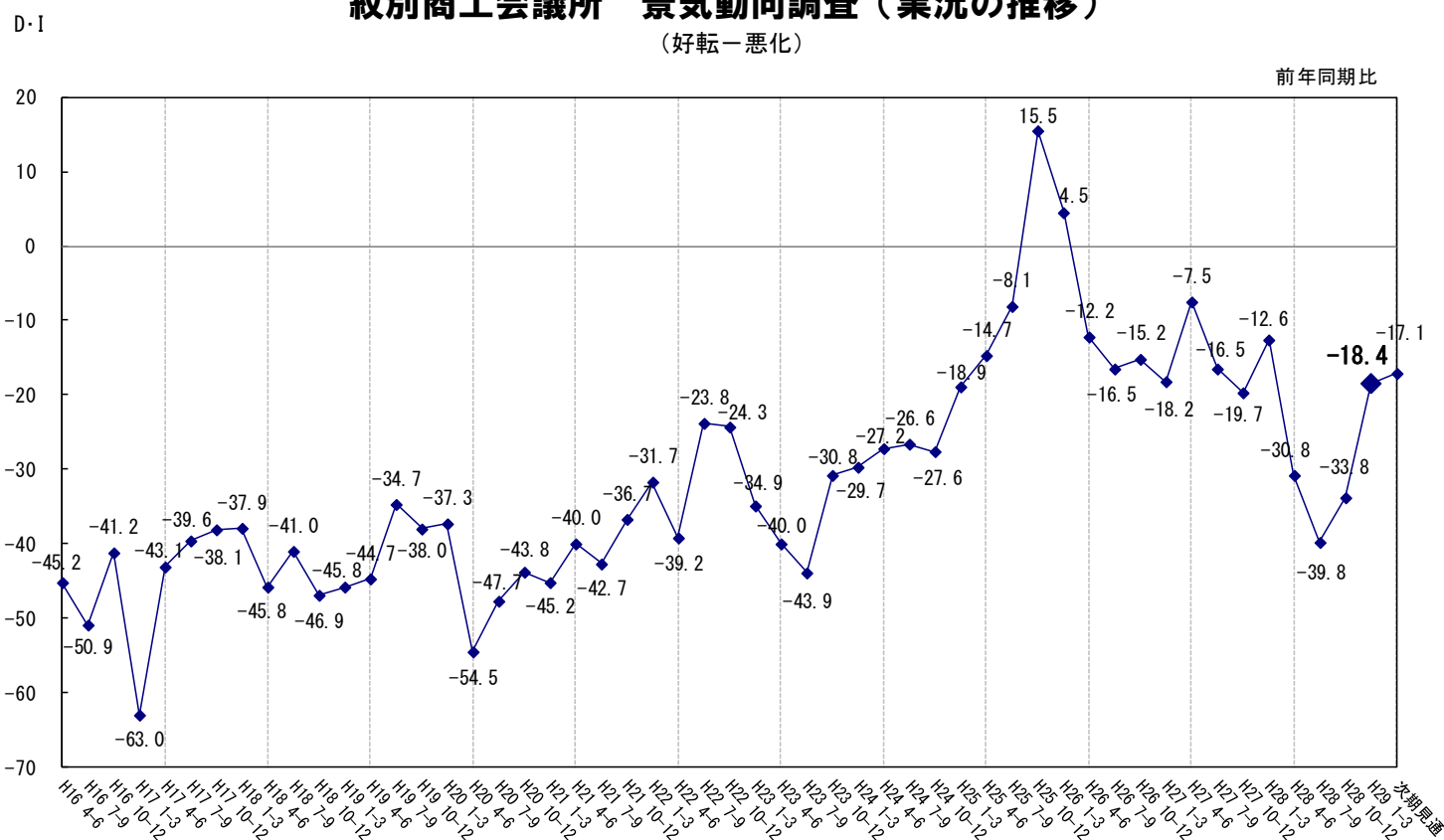
今回の調査では、業種間で業況が大きく分かれましました。建設業と観光サービス業・諸業が大きく回復しているのとは対照に、商業・食品業、水産業、機械工業が大幅な悪化の値を示しております。

次期(平成29年4月～6月)については、全体では今期と比べて**業況判断DIは僅かに好転(次期見通し▲17.1)**の予測となっており、水産業と機械工業が好転の見通し、商業・食品業が横ばいの推移となっていますが、今期業況が好転していた建設業と観光サービス・諸業が揃って大きく悪化の見通しとなっております。

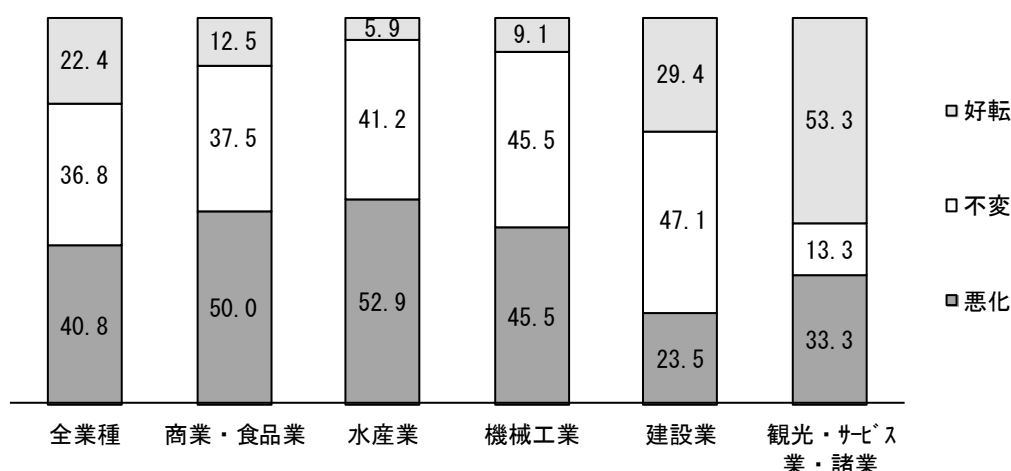
個人事業の28年分確定申告・決算指導においても、総じて例年に比べ低調に推移していたことが伺えます。29年度は平成26年度に発生した低気圧による帆立の減耗被害も3年間は影響があるといわれた最終年となるため、ここからの回復に期待してきたいと思えます。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「材料等の仕入単価の上昇」「従業員の確保難」「需要の停滞」を訴える声が多く寄せられており、原材料の減少等による仕入単価の上昇、人件費の単価を上げてもなかなか人が確保できない等、不安を訴える声が多くなっています。

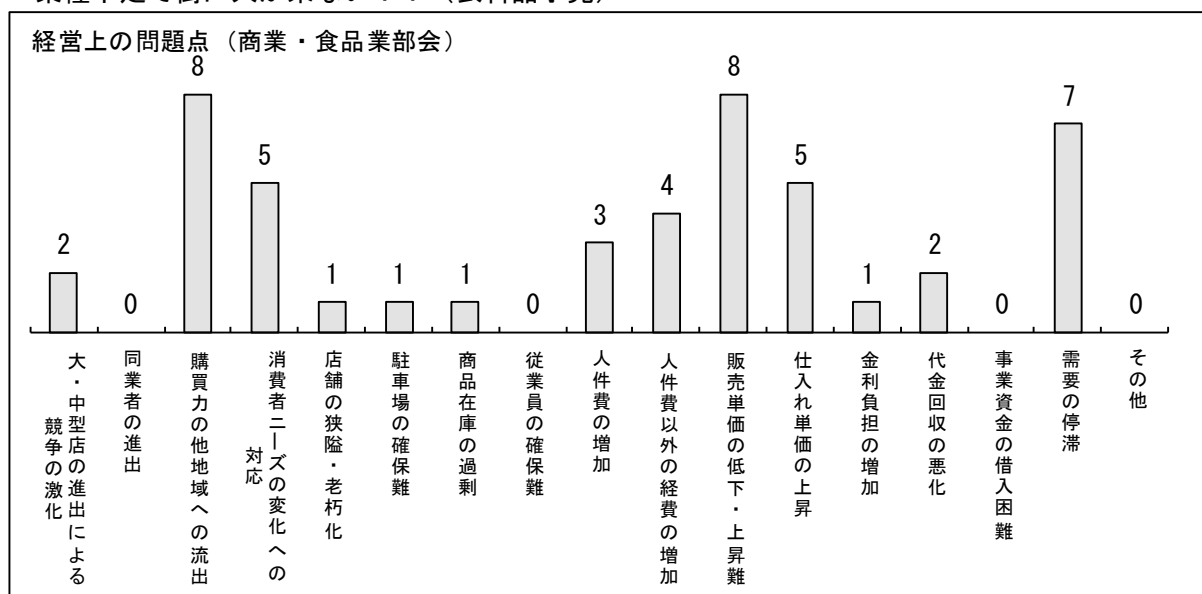
■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲37.5（前年DI値▲5.0、来期見通し▲37.5）〕

業況DI値（前年同期比）は、大幅に悪化しています。市内外の大型店やインターネットによる通販により、市内での消費活動が低調に推移し、次期見通しも、今期と同ポイントながらもマイナスとの見通しとなっております。経営上の問題点としては「購買力の他地域への流出」「販売単価の低下・上昇難」「需要の停滞」を訴える声が依然として多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・客数減（医薬品小売）
- ・業種不足で街に人が来ない！！（衣料品小売）



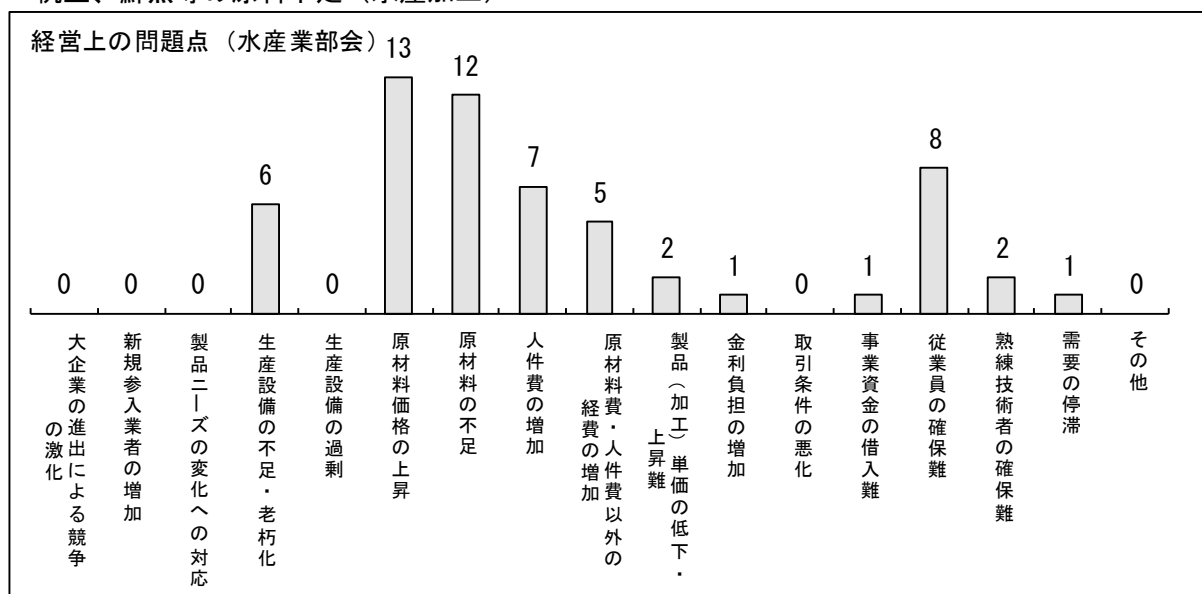
【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲47.1（前年DI値▲18.8、来期見通し▲23.5）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、大幅な悪化となりました。前年同期は休漁期ではあったものの、在庫の価格が上昇したことにより、若干好転していましたが、折からの原料不足により仕事の確保が難しいと判断し、海明けを前に廃業する事業所が見受けられる等、厳しい状況と

なっております。経営上の問題点としては「原材料価格の上昇」「原材料の不足」が依然として多く寄せられております。来期は、海明けに伴い毛がに漁も好調に推移していること等、今期よりは好転するとの見通しとなっております。

《業界の問題点等》

・帆立、鮮魚等の原料不足（水産加工）

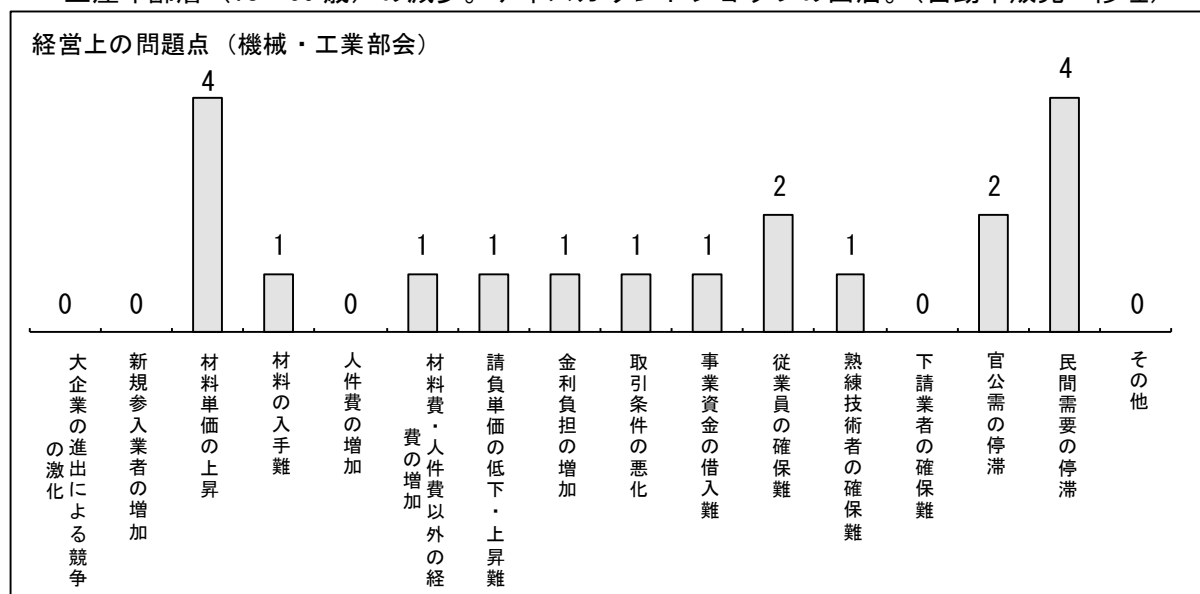


【機械工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲36.4（前年DI値6.3、来期見通し9.1）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年比42.7ポイント減の大幅に悪化となりました。例年に比べ降雪量が少なかったことによる機械のメンテナンス等が低調推移しました。また、自動車販売も民間の需要の停滞により同業他社との競争も激化し、業況は厳しくなっているとの声が寄せられています。来期の業況見通しは9.1と大きく改善する予想となっております。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「民間需要の停滞」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・降雪量の低下等の状況に応じた対応ができなかった。（機械販売・修理）
- ・生産年齢層（18～60歳）の減少。ディスカウントショップの出店。（自動車販売・修理）



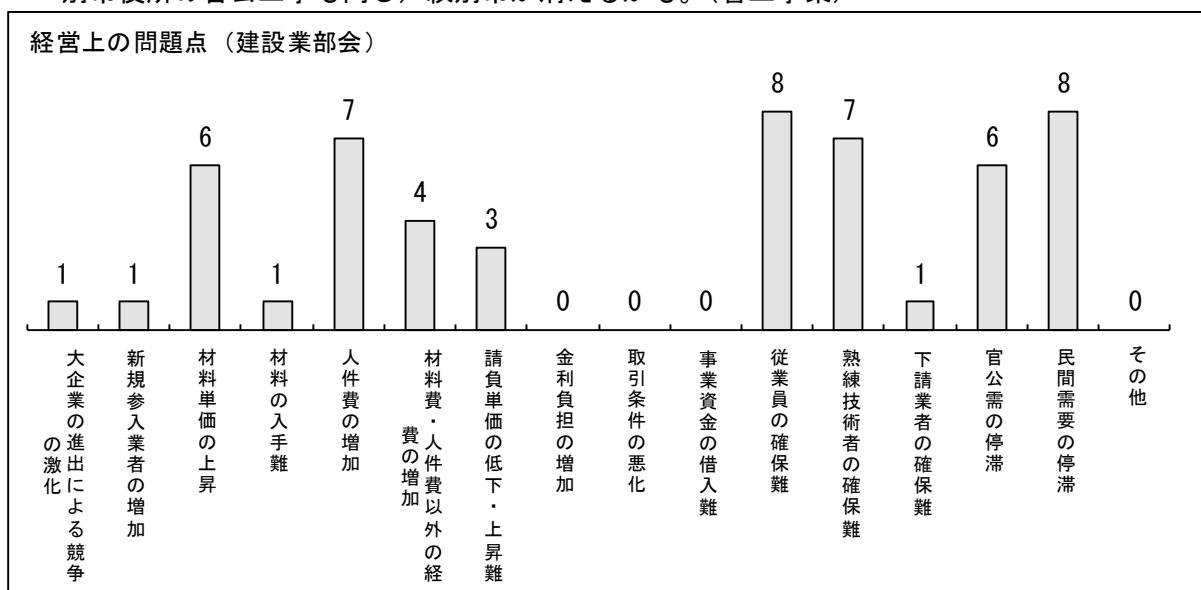
【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）5.9（前年DI値▲27.8、来期見通し▲5.9）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前年比33.7ポイントの大幅回復となりました。旧駅前通りに建設中の市営住宅や3月末に完成した給食センターの大詰めの作業に加え、降雪により民間住宅等の建設やリフォームの仕事が今期にずれ込んだことも影響しています。次期見通しは、

今期よりもやや悪化するとの見方が強くなっております。経営上の問題点としては「従業員・熟練技術者の確保難」「民間需要の停滞」「人件費の増加」を訴える声が多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・ 経済界が地元資材調達の地販地消がない。紋別市内にお金を落とすという考えがない（紋別市役所の官公工事と同じ）紋別市が消えるかも。（管工事業）

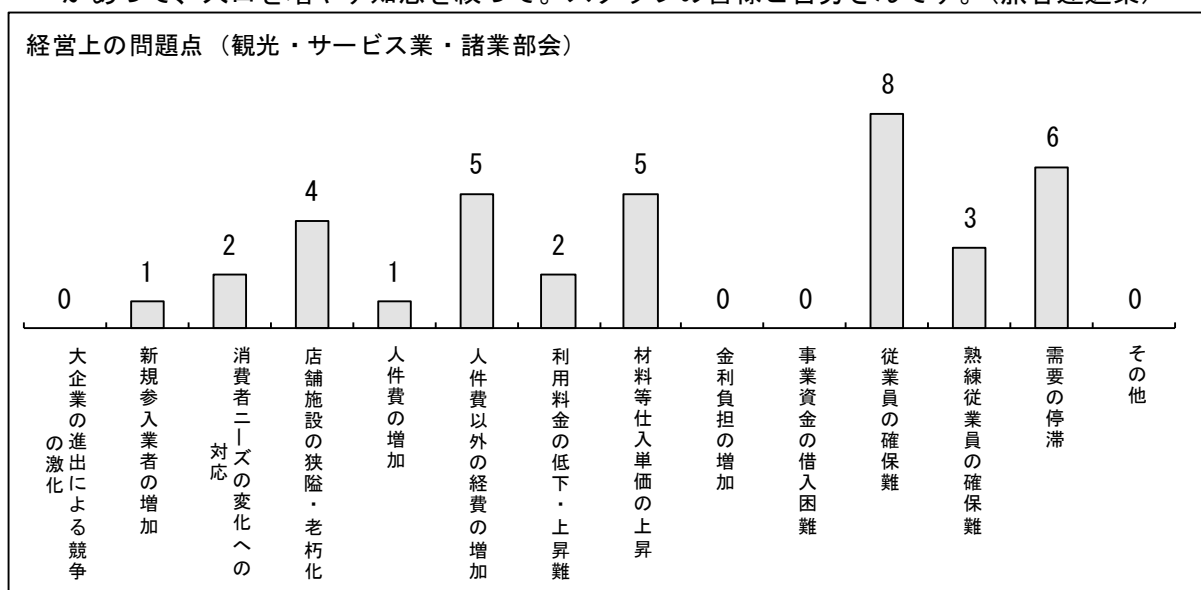


【観光・サービス業・諸業部会】 〔業況判断DI値（前年同期比）20.0（前年DI値▲17.6、来期見通し▲20.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前年よりも37.6ポイントの大幅回復となりました。冬観光シーズンに加え、春の異動に伴い、飲食業のみならず幅広い業種で「やや好転」との回答が多くなりました。しかし、依然として競合も多く厳しい状況を訴える声も多数寄せられております。経営上の問題点としては、「従業員の確保難」「人件費以外の経費の増加」「材料等仕入単価の上昇」「需要の停滞」などを心配する声が多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・ 調理人が集まらない！（飲食業）
- ・ 仕入単価の上昇（飲食業）
- ・ 地方からの観光目当てに来紋の方々（外国人）も入って、前年よりも賑わいを見せたようです。私共タクシー業も向かって微小ながら好転を迎えた様です。紋別は人口が増えない悩みがあって、人口を増やす知恵を絞って。スタッフの皆様ご苦労さんです。（旅客運送業）



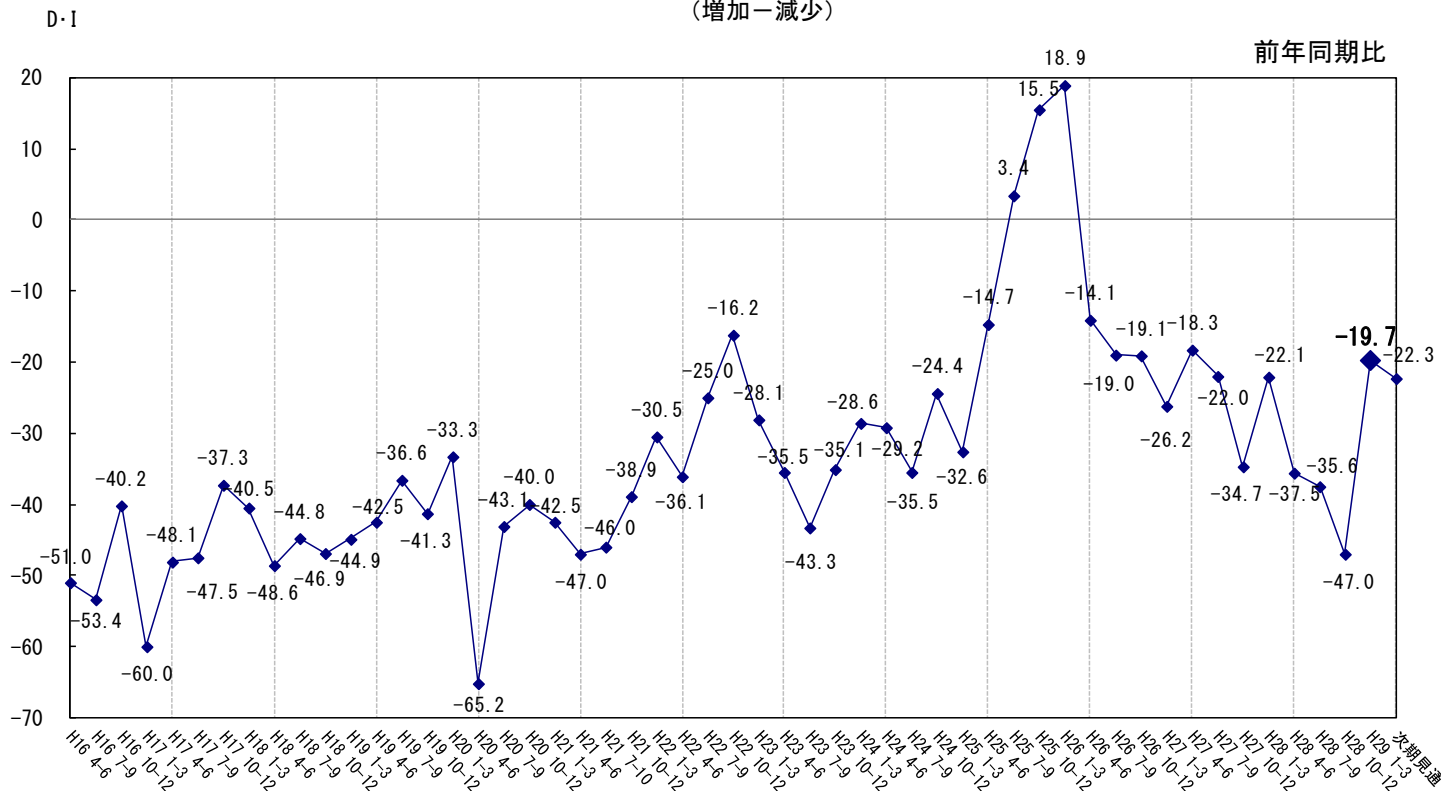
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

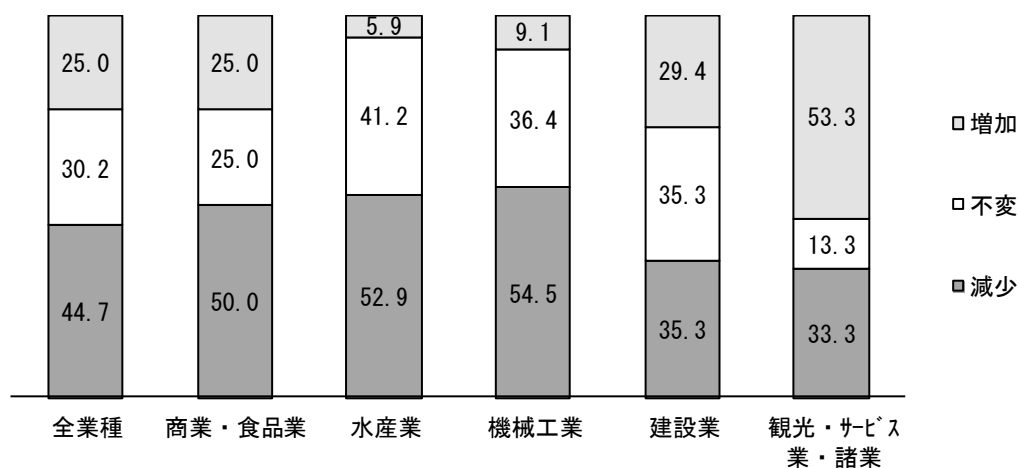
【前年同期比】（平成 28 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均 D・I）

（増加－減少）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均で DI 値▲19.7〔前回調査時（平成 28 年 10～12 月期▲47.0）より 27.3 ポイント好転〕建設業、観光サービス業・諸業で好転。その他の業種は大幅な悪化。

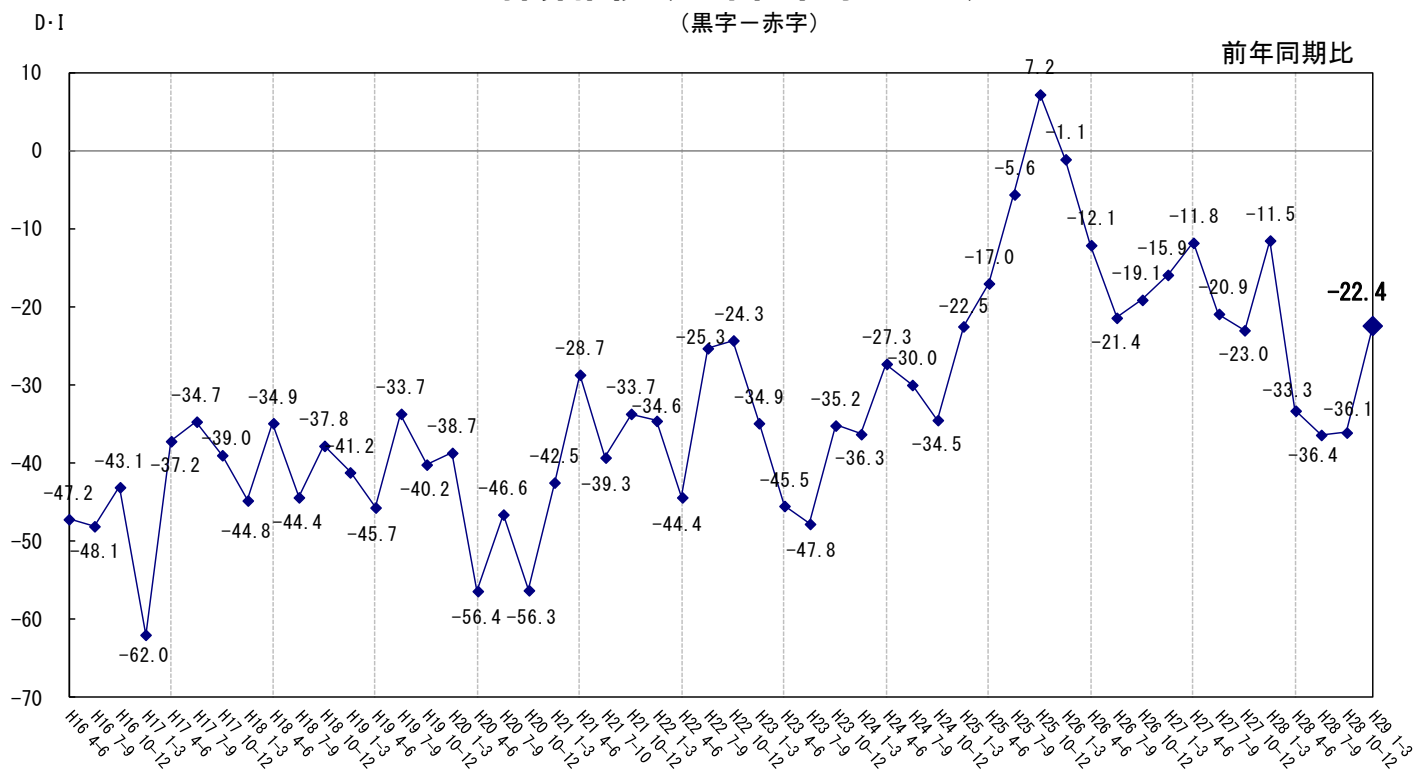
〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年▲15.0→▲25.0〕、水産業〔前年▲37.5→▲47.1〕
 機械工業〔前年 0.0→▲45.5〕、建設業〔前年▲35.3→▲5.9〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲23.5→20.0〕

(2) 今期の採算

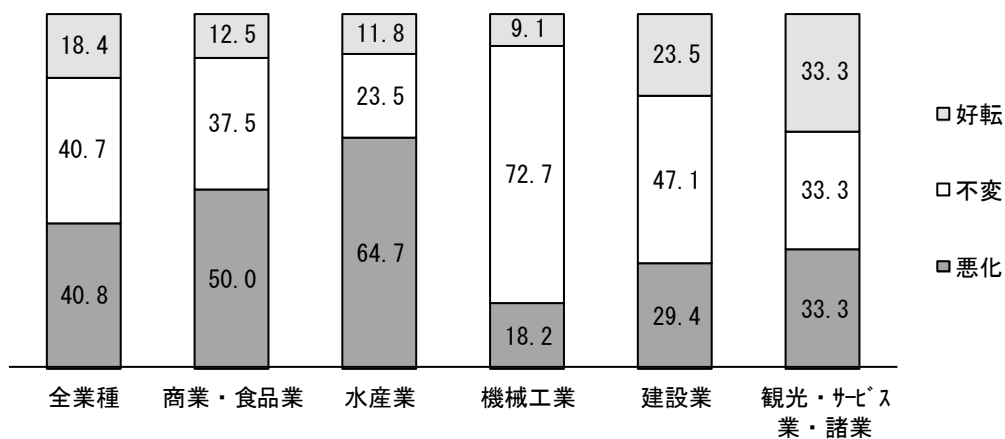
【前年同期比】（平成 28 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均 D・I）

（黒字＝赤字）



今期の採算（前年同期比）



全業種平均で DI 値▲22.4〔前回調査時（平成 28 年 10～12 月期▲36.1）より 13.7 ポイント改善〕

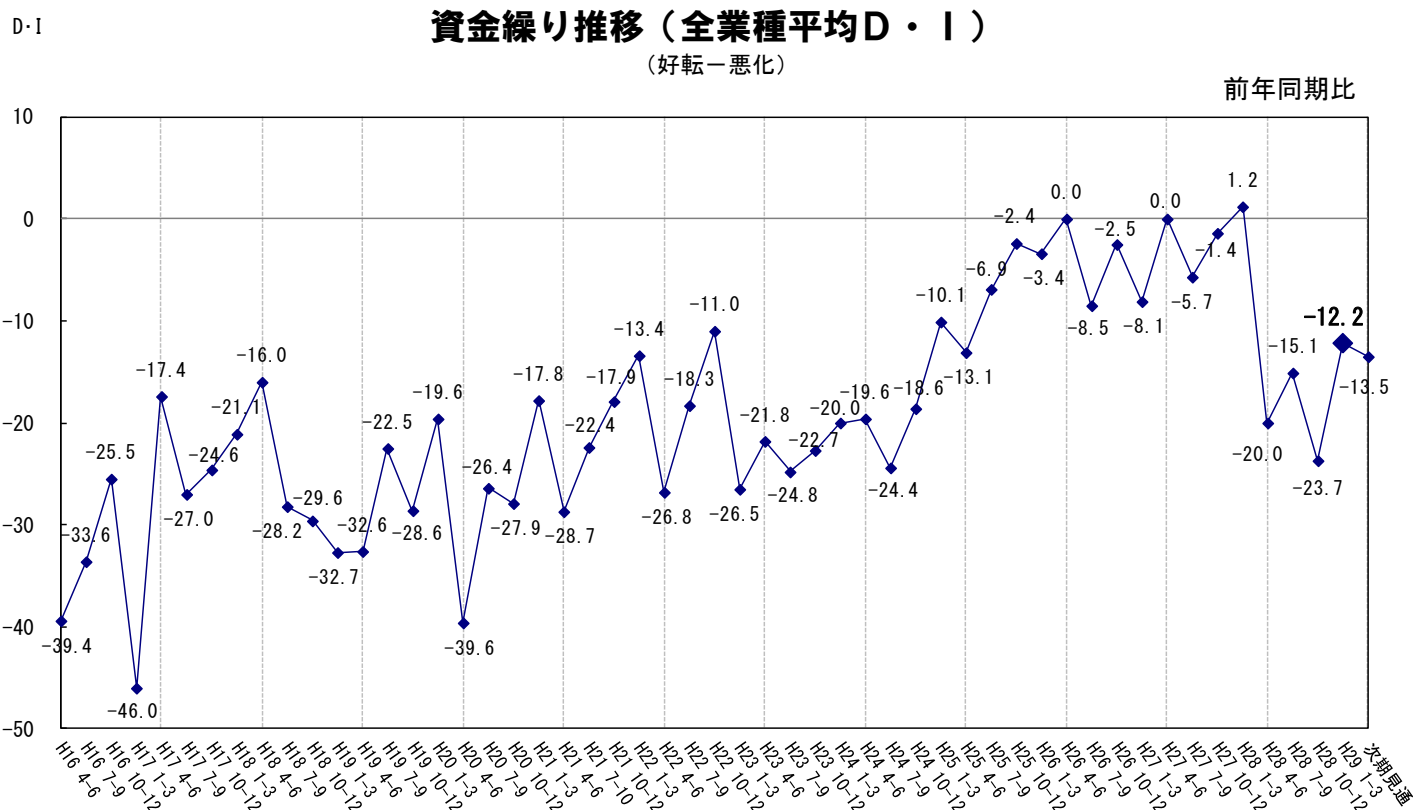
建設業、観光サービス業・諸業は回復したが、その他の業種で大幅な悪化。

【部会別 DI 値】

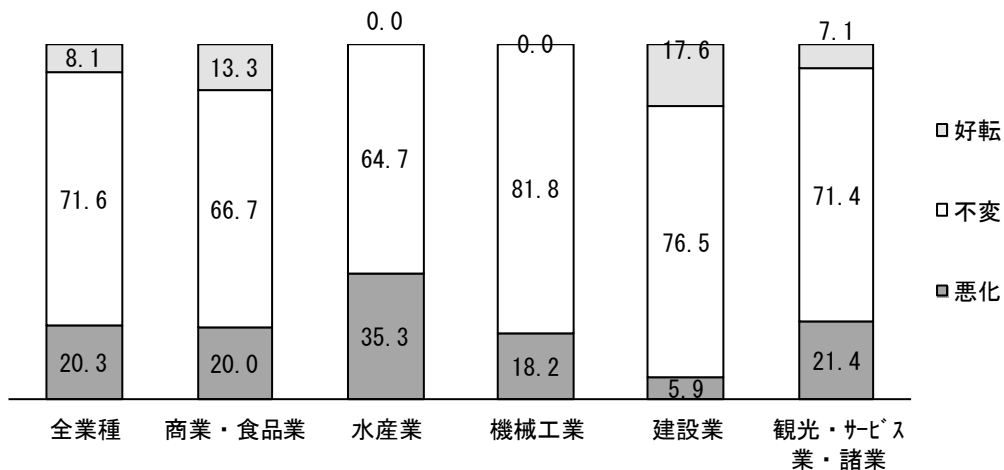
商業・食品業〔前年 0.0→▲37.5〕、水産業〔前年▲25.0→▲52.9〕
 機械工業〔前年 12.5→▲9.1〕、建設業〔前年▲22.2→▲5.9〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲23.5→0.0〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成 28 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



全業種平均で DI 値▲12.2〔前回調査時（平成 28 年 10～12 月期▲23.7）より 11.5 ポイント好転〕

水産業、機械工業が悪化。建設業は改善。

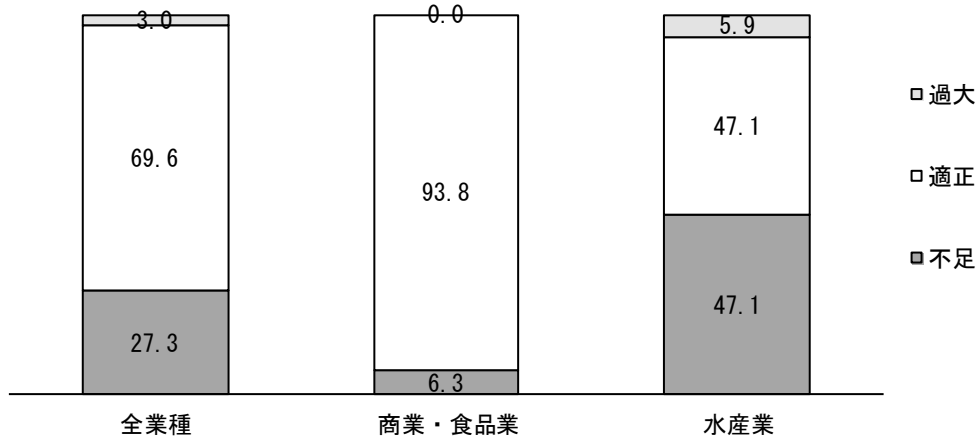
〔部会別 DI 値〕

商業・食品業〔前年 0.0→▲6.7〕、水産業〔前年▲6.3→▲35.3〕
 機械工業〔前年 7.1→▲18.2〕、建設業〔前年 0.0→11.8〕
 観光・サービス業・諸業〔前年 5.9→▲14.3〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 28 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



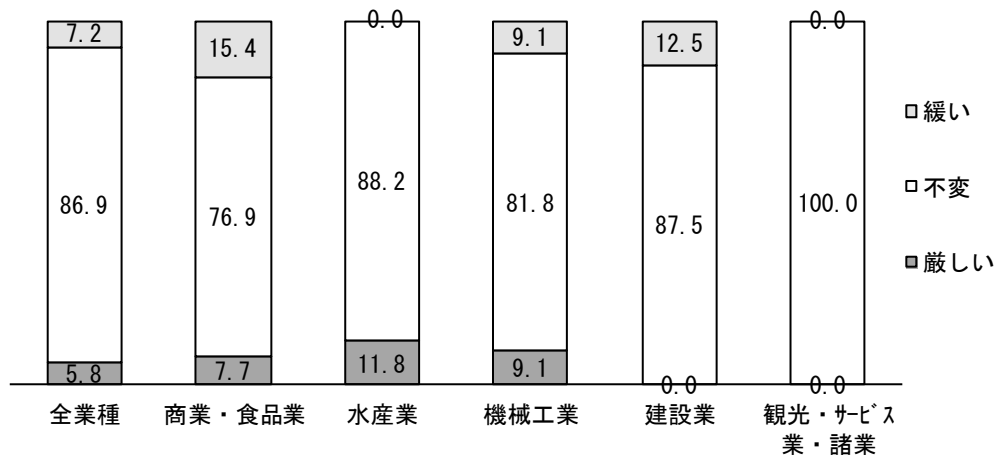
全業種平均で DI 値▲24.3〔前回調査時（平成 28 年 10～12 月期▲18.9）より 5.4 ポイント在庫不足〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年 15.0→▲6.3〕、水産業〔前年▲12.5→▲41.2〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成 28 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

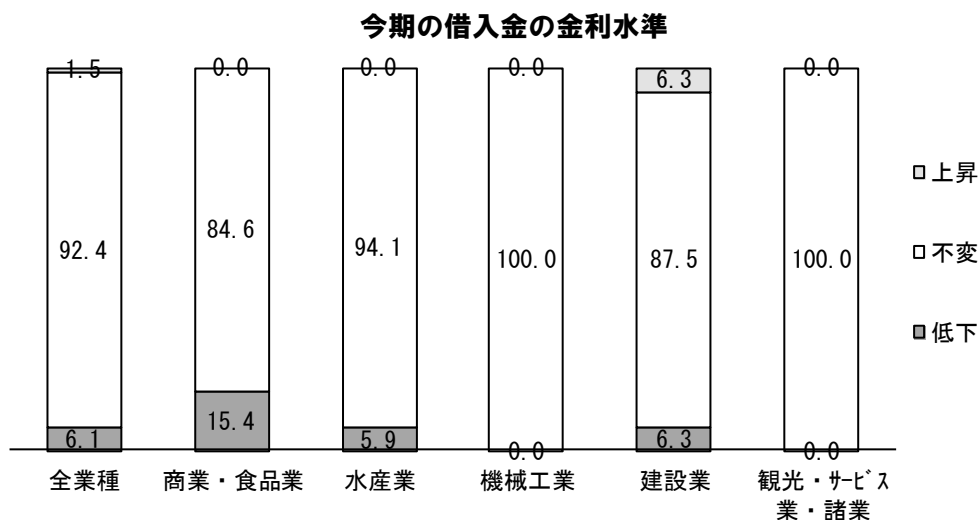
今期の金融機関の貸出姿勢



全業種平均で 1.4 ポイント。商業食品業 7.7、水産業▲11.8、機械工業 0.0、建設業 12.5、観光・サービス業・諸業 0.0

(6) 今期の借入金の金利水準

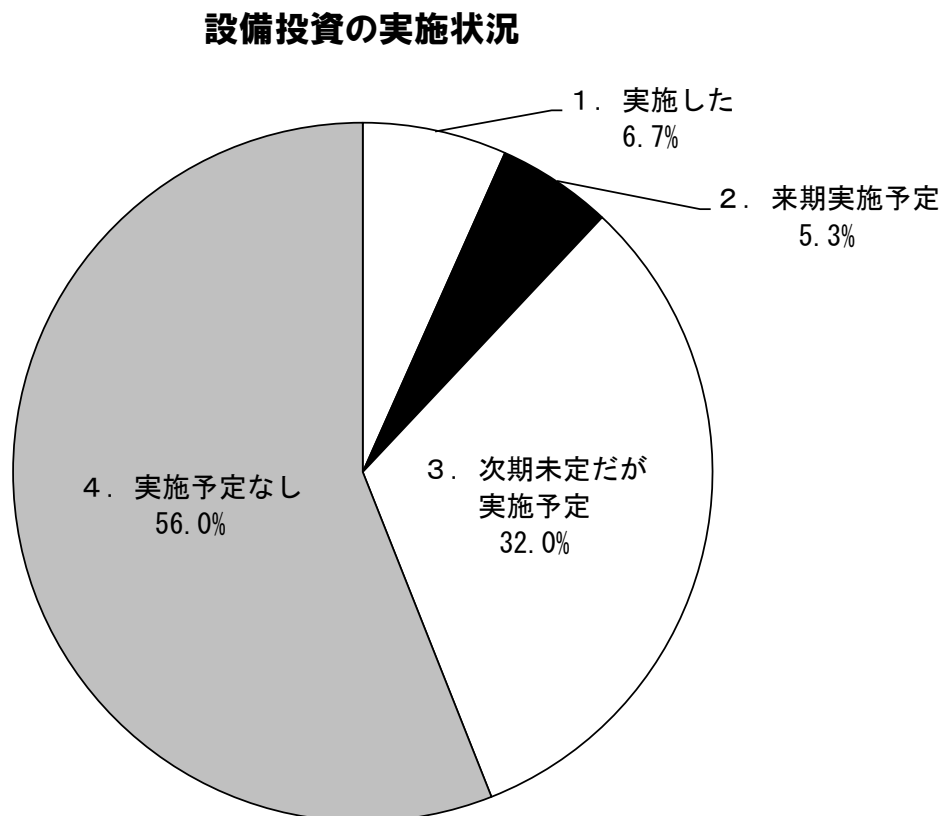
【前年同期比】（平成 28 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で▲4.6。商業食品業▲15.4、水産業▲5.9、機械工業 0.0、建設業 0.0、観光・サービス業・諸業 0.0

(7) 設備投資の実施状況

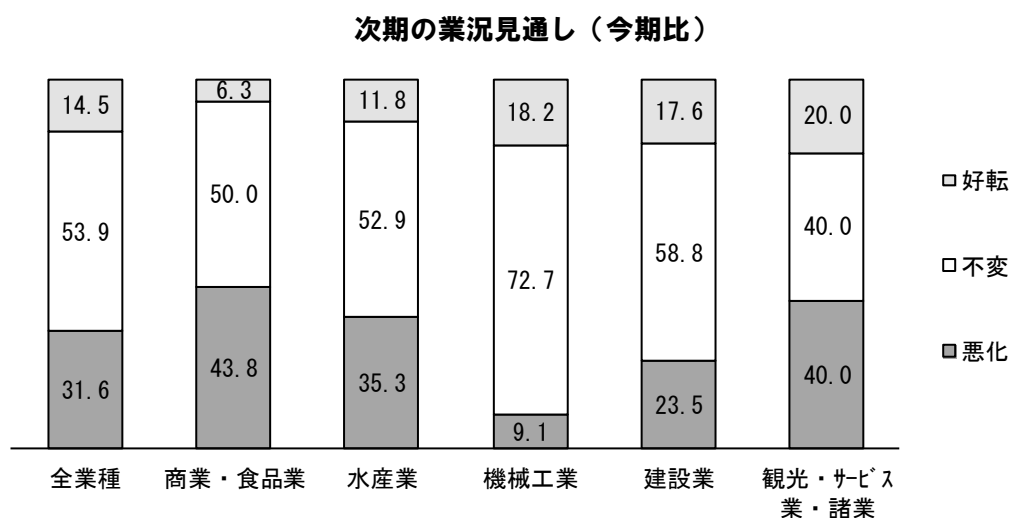
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

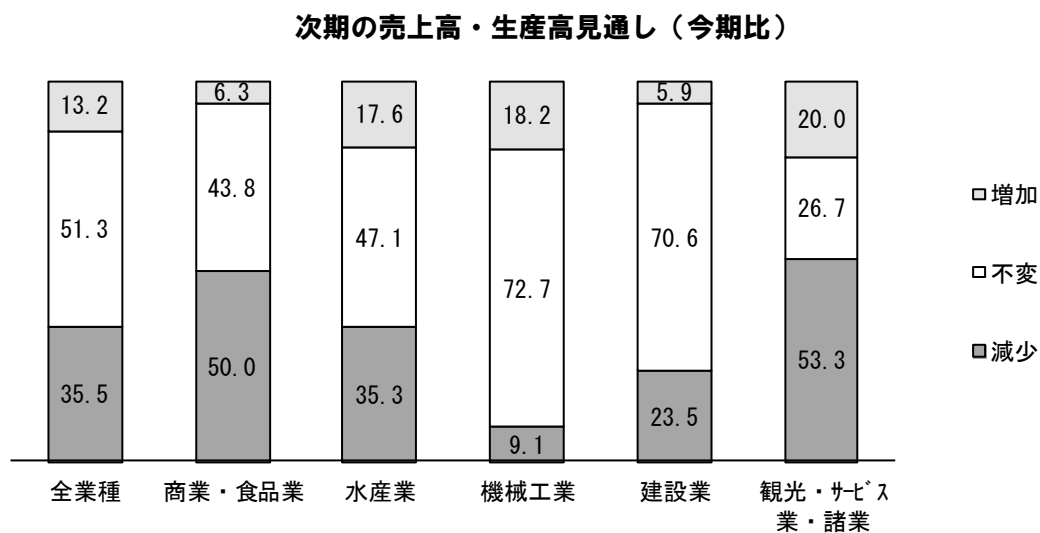
【今期比】（平成 29 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均 DI 値▲17.1 [今期の業況（前年同期比▲17.3）より 0.2 ポイント好転の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

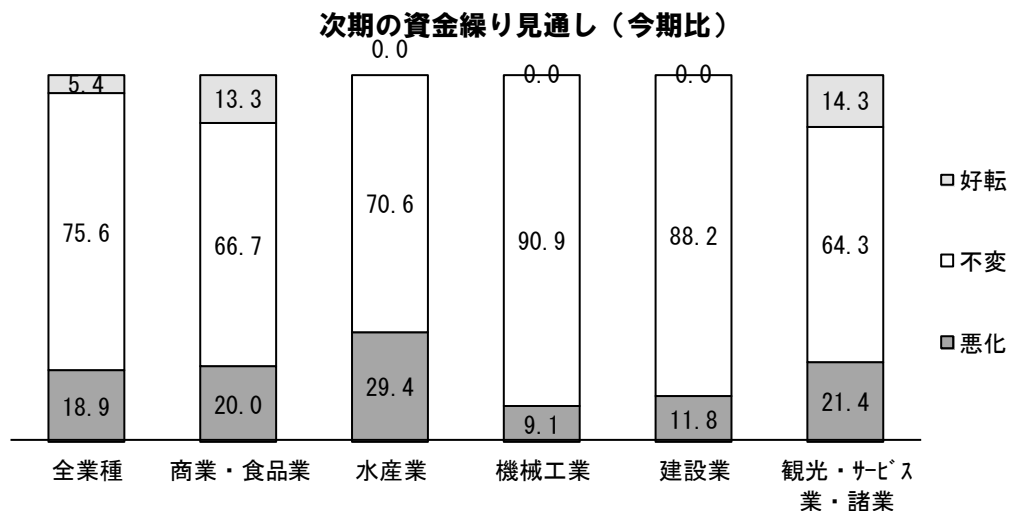
【今期比】（平成 29 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値▲22.3 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲20.0）より 2.3 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 29 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値 ▲13.5 [今期の資金繰り（前年同期比▲12.3）より 1.2 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食品業	水産業	機械工業	建設業	観光サービス業 ・諸業
業況判断 D・I	今期実績	▲18.4	▲37.5	▲47.1	▲36.4	5.9	20.0
	来期見通し	▲17.1	▲37.5	▲23.5	9.1	▲5.9	▲20.0
売上・生産 D・I	今期実績	▲19.7	▲25.0	▲47.1	▲45.5	▲5.9	20.0
	来期見通し	▲22.3	▲43.8	▲17.6	9.1	▲17.6	▲33.3
在 庫 D・I	今期実績	▲24.3	▲6.3	▲41.2	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今期実績	▲22.4	▲37.5	▲52.9	▲9.1	▲5.9	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲12.2	▲6.7	▲35.3	▲18.2	11.8	▲14.3
	来期見通し	▲13.5	▲6.7	▲29.4	▲9.1	▲11.8	▲7.1
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	1.4	7.7	▲11.8	0.0	12.5	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲4.6	▲15.4	▲5.9	0.0	0.0	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。